

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

1. 活動のテーマ

<テーマ>

絵本

<テーマの設定理由>

日頃からさまざまな絵本を手にとって読む子どもたちの姿から、さらに絵本への興味関心をさらに深めて、絵本の世界に入り込んでいくことができるようにしたいと考えたから。

2. 活動スケジュール

<10月～>絵本ラックワゴンの表紙が見える棚部分に季節の絵本を並べ、日々の保育の活動と連動させて季節の絵本に興味関心をもてるようにする。

<11月・12月>絵本ラックワゴンの表紙が見えるところに担任がセレクトした絵本を並べ、絵本を通して様々な体験をし、絵本の世界を楽しめるようにする。

<1～3月>絵本ラックワゴンを通年活用することで、絵本への興味関心を高め、絵本から様々な事柄への興味関心を深め子どもたちの探究心を育めるようにしていく。

3. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・活動のために準備した素材や道具、環境の設定
- ・活動中の子どもの姿・声、子ども同士や教諭との関わり等を記載ください。

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

・絵本ラックワゴンを用いて、季節の本・物語・図鑑など興味関心をもてるように設置した。また、本の世界に入り込めるようにマットを敷いて区切りのコーナーにしたことで、子ども同士のやりとりが多く見られた。

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、教諭との関わり等)

・落ち着いた空間で繰り返し見ること、話に出てくるセリフを言い合ったり、役の衣装の特徴を捉えて見ながら自分で作る気持ちになったりと、話の世界に入り、友だちと一緒に楽しさを感じることができた。

・友だちと同じ本を見ながら、役になってせりふを言う、役の気持ちを考えることができていた。繰り返し、子ども同士で遊びこんでいたことで、「どういう気持ちかな?」「どういう風に動いたらいいかな?」という問いかけに、自信をもって発表していた。

・子どもたちが本を分類してみたり、自分のおすすめの本の表紙が見えるように置いたりと大事にする姿があった。友だちが本を大事にする姿を見ることで、どんな本があるのか興味をもち、手に取るが増えた。

<振り返りによって得た先生の気づき>

絵本ラックワゴンを用いてコーナーを区切ること、興味関心をもてるように絵本を配置することで、子どもの本への扱い方や興味のもち方が変わった。

話の世界に入り込む楽しさを味わうことで、自分で表現することへの自信がつき、クラスでの発言や活動に進んで参加するなどの変化が見られた。

さらに本の世界に入り込み、自分を表現することができる保育を継続していきたい。

